

〈学習の導入〉

T (挨拶。) 今日で先生との勉強はおしまいです。今日は漢字の勉強をします。昨日、家で「かさこじぞう」の所、読んでみた人(児童多数挙手)。では、ノートを開いて見てみた人(児童四、五名挙手)。おお、増えた。

・ (読む場所の確認)

・ 読む人は立って大きな声でゆっくり。聞く人は本を持って、よく聞いてください。

T 最後の八人もよく読んでくれましたね。この後は哲平先生一緒に何回も読んでね。

T さて、お勉強を思い出そう(線分を書く)。かさこじぞうのお話、一番おしまいは一年のうちのいつで終わった。

C お正月(T 最後の区切りの部分に「お正月」と板書)。

T はじまりはいつだ。

C 大みそか。

T このお話を八人で八つに分けて読んでもらったよ。じいさまが、じぞうさまに会ったのは、場所、どこだった。

C 村の野っ原。

T 野っ原って何もないんです。おどろはなし、木もなくて、風がすごく当たる。何番の所。

C 三番。

T 三番だけ? C 四番。

T 三と四が野っ原。じいさまは、野っ原の前にどこにいた。

C 町。

T 町で何をやっていったっけ。

C かさこを売りに行った。

T かさこを売ろうと思っていた場所、何かやっていたよ。

C 大年の市。

T 市は、物を売るところです。大年は大みそかと同じです。じいさま、町のところから野っ原までは家の外。出掛けていましたよ。一番とここ(五く八)はうちにいましたよ。何番はどこにいた、と分かるところはあるか。

C 土間。

T それは何番。 C 一番。

T 土間って知ってる?

C 床のない部屋のこと。

T うまいこと言うね。下は何なの。

C 土です。 C 前に辞典で調べた。

T あとはありますか。

C 五番は土間。 T そこはちがう。残念でした。

C いろいろ。五番。

T 五番だけがいろいろかな。 C 六番。



T あとわかるでしょうか。

C わすれました。

T (一を指して) 土間の前はどこにいたの。

C いろいろにあたっていた。

T いろいろにあたってたと思うけど、言い方がちがうんだ。

C ざしき。

T ここ(八番)は。

C 雨戸。

T 雨戸があつて、「雨戸をくると、」だから・・・。

C じぞうさまが帰って行くところ。

T その間に一カ所あるんだ。 C 外。

T 外なんだけどね。書いてあつたよ・・・。

C 軒下。

T 軒下ってわかるか。・・・ちよつと屋根が出てるんだよ。

T じいさまがいたところ、確かめたよ。この中で、寒くて冷たくて大変だったところはどこですか。

C 野っ原。

T ふつっていたのが。 C 雪。(T 雪の絵をかく。)

T さらにこういうの(斜めの線をかく。)何だった? C 風。

T 暖かいところ、どこだ。

C いろいろ。

T お正月の物がたくさん置いてあつたのはどこだ。

C 軒下。

T まるで、何もなかったところ、どこだ。「なんにもありやせんとう」って言ったところ。 C 一。

T ざしきね。ここは何もなかった。この話の始まり。何もないざしきで何を始めたのが始まり?

C 大みそかにかさを売った。

T かさを作つたのが始まりなんだよ。じぞうが動いてくれたのは何を始めたからだった?

C かさをかぶせたから。

T もう一つ大事なことをしましたよ。何だった。

C おつむの雪をかきおとした。

T そうそう、大事だったよね。もう一つ、ここ(五、六番)でやったこと。

C もちつきのまねをした。

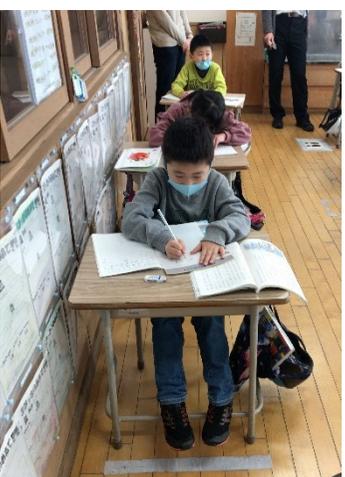
T よいお正月に? C なつた。 T ・・・というお話でした。

T ここから漢字の学習をします。ノートが一番上のますに、1、2・・・と書いて16まで書きます。ここに先生が漢字を書くから、みなさんはその読み方を平仮名で書いてください。漢字じゃないよ。

・1〜16まで、漢字の言葉を書く(物語に出てくる言葉)。

・終わると児童のノートを見て回る。読めない児童には教材文をヒントにさせる。

T はい、できたね。鉛筆をはさんでノートを閉じてください。教科書も



閉じて上に重ねてください。

T さあ、読むぞ。最初は声を出しませんよ。腰を立てて。今度は声を出して読んでください。

T じいさまとばあさまのことを言ってる字はどれですか。

C 二人。

T 二人です。この二人、どんな心の持ち主だったと思う。

C とてもやさしい。

T とてもやさしいということが、この中で分かるところがあるんだけど。言ってごらん。

C 安心。

T これはじいさまがじょうさまにかさかぶせて、たりなくて・・・

C 手ぬぐい。

T そこまでやって、安心した。だからやさしいね。まだあるか。

C 売る。

T この言葉のやさしさ、分かる？ だれのために売ったの。

C ばあさまのため。

T いい答えだね。あと、だれのためだった。

C お正月さま。

T まだ、やさしさがあるか。(「雪」を指して) これだってやさしいですよ。

C 雪をかきおとした。

T 鼻からつららもとってあげたんですよ。さあ、とってもやさしい二人だったので、おじょうさまの、ふつうは聞くことができないものを聞けました。

C 歌。

T これはないよね。もう一つ聞いたよ。ここには書いてない。

C 掛け声。

T これもみんな聞いたことない。

最後に、ごほうび、なのかな、たくさんもらって雨戸を開けて、見ると帰っていくところでした、というお話。読んでおしまいにします。

うちへ帰ったら、今、平仮名で書いたものを教科書を見ないで書けるかやってみるといい。書けなかったら確かめるんだよ。「安」の字は三年生で習うけど、「うかんむり」「女」二つとも知っているから書けると思うよ。

